

報道関係者 各位

令和7年11月25日(火)
【照会先】
鹿児島労働局労働基準部監督課
監督課長 鈴木 正臣
主任監察監督官 高井 浩二
099 - 223 - 8277

建設業の労働災害を防止するため「年末年始建設業 一斉集中立入調査」を実施します

鹿児島労働局（局長 ながの かずのり 永野 和則）は、年末年始に向けた鹿児島県内の建設業における労働災害の防止の取組を一層強化するため、令和7年12月1日(月)から令和8年1月30日(金)までを「年末年始建設業一斉集中立入調査実施期間」と位置づけて、管内の5つの労働基準監督署において建設現場に対し一斉集中立入調査を実施します。

【趣旨】

建設業における労働災害（休業4日以上）は、令和4年283件、令和5年304件、令和6年316件（新型コロナウイルス感染症による休業災害を除く、以下同じ）と増加傾向にあります。令和7年は10月末現在、休業4日以上の災害が235件（前年同期242件）と若干減少（－2.9%）、死亡災害は2件（前年同期6件）と減少しているものの、依然として重篤災害の発生率が高い業種となっています。

これから迎える年末年始は、慌ただしい時期であり、作業内容や生活リズムが変わる傾向にあることから、建設業の労働災害が発生しやすい時期となっています。

このような状況を踏まえ、鹿児島労働局では、年末年始におけるさらなる労働災害の撲滅を目指し、「年末年始建設業一斉集中立入調査」を実施するものです。

【取組事項】

- 1 実施期間：令和7年12月1日(月)～令和8年1月30日(金)
- 2 対 象：鹿児島労働局管内の建設現場
- 3 実施主体：鹿児島労働局管内の5つの労働基準監督署
- 4 重点事項

建設業の三大災害（①墜落・転落災害、②建設機械災害、③土砂崩壊災害）が発生するおそれのある現場に対して、次の労働災害防止措置を重点事項として立入調査を行う。

①墜落・転落災害

足場の組立て等による作業床の設置、足場の組立て等作業主任者の選任、要求性能墜落制止器具の使用、開口部等への囲い・手すり等の設置等

【取組事項】

②建設機械災害

有資格者による運転、作業半径内の立入禁止、安全な運行経路の確保等

③土砂崩壊災害

掘削箇所の事前調査、法面の安全勾配の確保、土止め支保工の設置、地山の掘削作業主任者の選任等

【資 料】

- 1 年別・業種別労働災害発生状況（平成 27 年～令和 6 年）（資料 1）
（新型コロナウイルス感染症による休業災害を除く）
- 2 業種別死傷災害発生状況（令和 7 年 10 月末速報）（資料 2）
- 3 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況（資料 3）
（令和 7 年 10 月末速報）
- 4 令和 7 年 建設業死亡災害事例（令和 7 年 10 月末現在）（資料 4）

平成27～令和6年における業種別労働災害発生状況

業種	年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
全 産 業 (死 亡)		1,751 (17)	1,985 (20)	1,961 (21)	1,936 (13)	2,010 (15)	2,047 (14)	2,108 (22)	2,090 (13)	2,240 (14)	2,157 (19)
1 製造業		321 (2)	382 (2)	377 (1)	370 (1)	385 (2)	378 (2)	370 (2)	376	440 (4)	392 (6)
1 食料品製造業		197 (1)	235 (1)	236 (1)	212	224 (1)	211	206	228	254 (3)	248 (4)
4 木材・木製品製造業		10	20	26	25	32	20	25	23	21	24 (1)
9 窯業土石製品製造業		21	15	19	22	15 (1)	19	19	20	22	16 (1)
11～12 金属製品製造業		12 (1)	19	30	22	32	27 (1)	24	21	30	28
13～15 機械器具製造業		24	28	21	24	24	45	37 (1)	30	43	36
上記以外の製造業		57	65 (1)	45	65 (1)	58	56 (1)	59 (1)	54	70 (1)	40
2 鉱業		3	5	6	5	2	3	2 (1)	6	9	3
3 建設業		290 (5)	314 (4)	312 (8)	294 (4)	312 (6)	302 (3)	295 (5)	283 (5)	304 (3)	316 (6)
1 土木工事業		103 (3)	129 (2)	118 (2)	104 (2)	116 (1)	109 (2)	117 (3)	113 (3)	102 (1)	114 (5)
2 建築工事業		161 (1)	148 (1)	143 (4)	162 (2)	159 (4)	159 (1)	131 (1)	137 (1)	150 (1)	151 (1)
3 その他の建設業		26 (1)	37 (1)	51 (2)	28	37 (1)	34	47 (1)	33 (1)	52 (1)	51
4 運輸交通業		203 (2)	211 (2)	189 (4)	222	193 (1)	215 (2)	222 (2)	200 (2)	211 (1)	207 (1)
1 鉄道・航空機業		8	8	11 (2)	10	7	7	10	5	5	2
2 道路旅客運送業		17	27	16	24	6	14	17	8	17	16
3 道路貨物運送業		177 (2)	175 (2)	161 (2)	187	178 (1)	194 (2)	193 (2)	186 (2)	189 (1)	189 (1)
4 その他の運輸交通業		1	1	1	1	2		2	1		
5 貨物取扱業		18 (1)	22	32 (1)	20	34	14	17	29	22	24 (1)
1 陸上貨物取扱業		8 (1)	10	10	8	8	4	3	11	11	10
2 港湾運送業		10	12	22 (1)	12	26	10	14	18	11	14 (1)
6 農林業		92 (3)	100 (5)	103 (1)	87 (3)	104 (2)	104 (2)	97 (5)	98 (2)	106 (1)	103 (2)
1 農業		42	43	55	39 (2)	47 (1)	53	44 (2)	48	62	54 (1)
2 林業		50 (3)	57 (5)	48 (1)	48 (1)	57 (1)	51 (2)	53 (3)	50 (2)	44 (1)	49 (1)
7 畜産・水産業		97 (2)	84 (1)	104 (2)	94 (1)	101	101 (1)	112 (1)	119 (1)	111	120
8 商業		224 (1)	258 (4)	251 (1)	268	280 (1)	269 (3)	277 (2)	295 (2)	293 (2)	278
9 金融・広告業		15	23	23	18 (1)	15	17	25	15	23	16
11 通信業		9	14	18	23	19	33	21	25	25	21
12 教育・研究業		21	19	20	18 (1)	22	18	29	31	30	14
13 保健衛生業		218	290	281	282	288	333	372	355	387	364 (1)
1 医療保健業		84	111	109	128	114	123	144	141	149	144 (1)
2 社会福祉施設		127	176	166	146	171	202	222	207	226	212
3 その他の保健衛生業		7	3	6	8	3	8	6	7	12	8
14 接客娯楽業		119	137	115	105 (1)	118	103	119	109	112 (1)	116
1 旅館業		30	28	27	22	30	26	23	33	25 (1)	31
2 飲食店		56	73	60	50	60	44	60	55	66	64
3 その他の接客娯楽業		33	36	28	33 (1)	28	33	36	21	21	21
上記以外の事業		121 (1)	126 (2)	130 (3)	130 (1)	137 (3)	157 (1)	150 (4)	149 (1)	167 (2)	183 (2)
10 映画・演劇業										1	
15 清掃・と畜業		72 (1)	67 (1)	70 (2)	74 (1)	78 (2)	76	82 (4)	85	89	100
16 官公署		1	1		1	1	2		3		
17 その他の事業		48	58 (1)	60 (1)	55	58 (1)	79 (1)	68	61 (1)	77 (2)	83 (2)
陸上貨物運送事業 (4-3・5-1)		185 (3)	185 (2)	171 (2)	195	186 (1)	198 (2)	196 (2)	197 (2)	200 (1)	199 (1)
第三次産業 (8～17)		727 (2)	867 (6)	838 (4)	844 (4)	879 (4)	930 (4)	993 (6)	979 (3)	1037 (5)	992 (3)

* () 内の数字は、死亡者数で内数である。

* 新型コロナウイルス感染症り患者を除く

業種別死傷災害発生状況

(令和 7 年10月末)

鹿児島労働局

業種 \ 年					対前年			
	令和 7 年		令和 6 年		増減数		増減率	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	1,633	9	1,648	15	-15	-6	-0.9%	-40.0%
1 製造業	316	1	289	4	27	-3	9.3%	-75.0%
1 食料品製造業	190		188	3	2	-3	1.1%	-100.0%
4 木材・木製品製造業	17	1	18		-1	1	-5.6%	
9 窯業土石製品製造業	14		12	1	2	-1	16.7%	-100.0%
11～12 金属製品製造業	18		16		2		12.5%	
13～15 機械機具製造業	25		27		-2		-7.4%	
上記以外の製造業	52		28		24		85.7%	
2 鉱業	6		1		5		500.0%	
3 建設業	235	2	242	6	-7	-4	-2.9%	-66.7%
1 土木工事業	86	2	89	5	-3	-3	-3.4%	-60.0%
2 建築工事業	109		112	1	-3	-1	-2.7%	-100.0%
3 その他の建設業	40		41		-1		-2.4%	
4 運輸交通業	166	1	156	1	10		6.4%	
1 鉄道・航空機業	2		1		1		100.0%	
2 道路旅客運送業	16	1	13		3	1	23.1%	
3 道路貨物運送業	147		142	1	5	-1	3.5%	-100.0%
4 その他の運輸交通業	1				1			
5 貨物取扱業	10		19	1	-9	-1	-47.4%	-100.0%
1 陸上貨物取扱業			7		-7		-100.0%	
2 港湾運送業	10		12	1	-2	-1	-16.7%	-100.0%
6 農林業	84	2	87	2	-3		-3.4%	
1 農業	49	1	46	1	3		6.5%	
2 林業	35	1	41	1	-6		-14.6%	
7 畜産・水産業	59		93		-34		-36.6%	
8 商業	220	1	208		12	1	5.8%	
1 卸売業	30		38		-8		-21.1%	
2 小売業	169	1	155		14	1	9.0%	
3 理美容業	2				2			
4 その他の商業	19		15		4		26.7%	
9 金融・広告業	14		12		2		16.7%	
11 通信業	23		17		6		35.3%	
12 教育・研究業	13		9		4		44.4%	
13 保健衛生業	281		278		3		1.1%	
1 医療保健業	118		105		13		12.4%	
2 社会福祉施設	157		166		-9		-5.4%	
3 その他の保健衛生業	6		7		-1		-14.3%	
14 接客娯楽業	84		91		-7		-7.7%	
1 旅館業	22		23		-1		-4.3%	
2 飲食店	43		49		-6		-12.2%	
3 その他の接客娯楽業	19		19					
上記以外の事業	122	2	146	1	-24	1	-16.4%	100.0%
10 映画・演劇業								
15 清掃・と畜業	68	2	77		-9	2	-11.7%	
16 官公署			2		-2		-100.0%	
17 その他の事業	54		67	1	-13	-1	-19.4%	-100.0%
陸上貨物運送事業（４－３・５－１）	147		149	1	-2	-1	-1.3%	-100.0%
第三次産業（８～17）	757	3	761	1	-4	2	-0.5%	200.0%

① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が４日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
② 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
③ 下段の陸上貨物運送事業（４－３・５－１）及び第三次産業（８～17）は、別計。
④ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況
(令和7年10月末)

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別						
業種	順位	令和7年	人数	割合	順位	令和6年	人数	割合		令和7年		令和6年		増減数	
										人数	割合	人数	割合		人数
全産業	1	転倒	462	28.3%	1	転倒	424	25.7%	～19歳	30	1.8%	30	1.8%		
	2	墜落・転落	287	17.6%	2	墜落・転落	294	17.8%	20歳～29歳	203	12.4%	181	11.0%	22	
	3	動作の反動・無理な動作	249	15.2%	3	動作の反動・無理な動作	248	15.0%	30歳～39歳	182	11.1%	215	13.0%	-33	
	4	はさまれ・巻き込まれ	155	9.5%	4	はさまれ・巻き込まれ	179	10.9%	40歳～49歳	291	17.8%	286	17.4%	5	
	5	切れ・こすれ	94	5.8%	5	切れ・こすれ	112	6.8%	50歳～59歳	367	22.5%	342	20.8%	25	
									60歳～	560	34.3%	594	36.0%	-34	
製造業	1	転倒	87	27.5%	1	転倒	77	26.6%	～19歳	11	3.5%	3	1.0%	8	
	2	はさまれ・巻き込まれ	53	16.8%	2	はさまれ・巻き込まれ	54	18.7%	20歳～29歳	44	13.9%	29	10.0%	15	
	3	動作の反動・無理な動作	37	11.7%	3	墜落・転落	40	13.8%	30歳～39歳	45	14.2%	48	16.6%	-3	
	4	墜落・転落	35	11.1%	4	切れ・こすれ	35	12.1%	40歳～49歳	58	18.4%	48	16.6%	10	
	5	切れ・こすれ	32	10.1%	5	動作の反動・無理な動作	33	11.4%	50歳～59歳	70	22.2%	56	19.4%	14	
									60歳～	88	27.8%	105	36.3%	-17	
建設業	1	墜落・転落	84	35.7%	1	墜落・転落	90	37.2%	～19歳	6	2.6%	9	3.7%	-3	
	2	転倒	33	14.0%	2	転倒	25	10.3%	20歳～29歳	48	20.4%	41	16.9%	7	
	3	はさまれ・巻き込まれ	24	10.2%	3	はさまれ・巻き込まれ	24	9.9%	30歳～39歳	27	11.5%	31	12.8%	-4	
	4	交通事故（道路）	16	6.8%	4	切れ・こすれ	20	8.3%	40歳～49歳	41	17.4%	34	14.0%	7	
	5	切れ・こすれ	15	6.4%	5	飛来・落下	20	8.3%	50歳～59歳	32	13.6%	37	15.3%	-5	
									60歳～	81	34.5%	90	37.2%	-9	
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	45	30.6%	1	墜落・転落	42	28.2%	～19歳			3	2.0%	-3	
	2	転倒	25	17.0%	2	動作の反動・無理な動作	25	16.8%	20歳～29歳	12	8.2%	11	7.4%	1	
	3	動作の反動・無理な動作	18	12.2%	3	転倒	22	14.8%	30歳～39歳	17	11.6%	16	10.7%	1	
	4	激突され	16	10.9%	4	はさまれ・巻き込まれ	18	12.1%	40歳～49歳	38	25.9%	46	30.9%	-8	
	5	はさまれ・巻き込まれ	15	10.2%	5	激突され	13	8.7%	50歳～59歳	38	25.9%	39	26.2%	-1	
									60歳～	42	28.6%	34	22.8%	8	
林業	1	激突され	8	22.9%	1	激突され	10	24.4%	～19歳	1	2.9%			1	
	2	切れ・こすれ	8	22.9%	2	切れ・こすれ	10	24.4%	20歳～29歳	5	14.3%	8	19.5%	-3	
	3	はさまれ・巻き込まれ	6	17.1%	3	墜落・転落	4	9.8%	30歳～39歳	9	25.7%	6	14.6%	3	
	4	飛来・落下	5	14.3%	4	飛来・落下	4	9.8%	40歳～49歳	9	25.7%	13	31.7%	-4	
	5	墜落・転落	4	11.4%	5	はさまれ・巻き込まれ	3	7.3%	50歳～59歳	5	14.3%	8	19.5%	-3	
									60歳～	6	17.1%	6	14.6%		
第三次 産業	1	転倒	298	39.4%	1	転倒	271	35.6%	～19歳	8	1.1%	13	1.7%	-5	
	2	動作の反動・無理な動作	169	22.3%	2	動作の反動・無理な動作	156	20.5%	20歳～29歳	68	9.0%	63	8.3%	5	
	3	墜落・転落	98	12.9%	3	墜落・転落	92	12.1%	30歳～39歳	59	7.8%	94	12.4%	-35	
	4	交通事故（道路）	39	5.2%	4	交通事故（道路）	49	6.4%	40歳～49歳	126	16.6%	115	15.1%	11	
	5	はさまれ・巻き込まれ	30	4.0%	5	はさまれ・巻き込まれ	39	5.1%	50歳～59歳	195	25.8%	163	21.4%	32	
									60歳～	301	39.8%	313	41.1%	-12	
	小売業	1	転倒	73	43.2%	1	転倒	67	43.2%	～19歳			6	3.9%	-6
		2	墜落・転落	24	14.2%	2	動作の反動・無理な動作	20	12.9%	20歳～29歳	20	11.8%	13	8.4%	7
		3	動作の反動・無理な動作	23	13.6%	3	墜落・転落	19	12.3%	30歳～39歳	12	7.1%	18	11.6%	-6
		4	交通事故（道路）	9	5.3%	4	交通事故（道路）	14	9.0%	40歳～49歳	24	14.2%	20	12.9%	4
		5	はさまれ・巻き込まれ	7	4.1%	5	激突	9	5.8%	50歳～59歳	47	27.8%	26	16.8%	21
										60歳～	66	39.1%	72	46.5%	-6
	社会福 祉施設	1	転倒	68	43.3%	1	転倒	61	36.7%	～19歳	1	0.6%			1
		2	動作の反動・無理な動作	53	33.8%	2	動作の反動・無理な動作	58	34.9%	20歳～29歳	9	5.7%	5	3.0%	4
		3	墜落・転落	11	7.0%	3	墜落・転落	12	7.2%	30歳～39歳	7	4.5%	23	13.9%	-16
		4	その他	6	3.8%	4	激突	8	4.8%	40歳～49歳	21	13.4%	30	18.1%	-9
		5	激突され	5	3.2%	5	激突され	6	3.6%	50歳～59歳	47	29.9%	41	24.7%	6
										60歳～	72	45.9%	67	40.4%	5
	飲食店	1	転倒	17	39.5%	1	転倒	21	42.9%	～19歳	2	4.7%	4	8.2%	-2
		2	切れ・こすれ	8	18.6%	2	切れ・こすれ	9	18.4%	20歳～29歳	7	16.3%	8	16.3%	-1
		3	墜落・転落	5	11.6%	3	高温・低温の物との接触	7	14.3%	30歳～39歳	5	11.6%	9	18.4%	-4
		4	高温・低温の物との接触	5	11.6%	4	動作の反動・無理な動作	4	8.2%	40歳～49歳	2	4.7%	3	6.1%	-1
		5	動作の反動・無理な動作	3	7.0%	5	墜落・転落	2	4.1%	50歳～59歳	16	37.2%	8	16.3%	8
										60歳～	11	25.6%	17	34.7%	-6

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。
※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和7年 死亡災害事例(令和7年10月末日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業 種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和7年 2 月	木材・木製品製造業	作業者	男	73	2年	はさまれ・巻き込まれ	フォークリフト	雑木の剪定で発生した枝を運搬するため、スリングベルトで束ねた枝を代表者が操作するフォークリフトで吊り上げた後、被災者は枝が揺れないよう手で支えながらフォークリフトとともに町道を移動していたところ道路上に転倒し、前進してきたフォークリフトに右脚をひかれ、その後死亡した。
2	令和7年 2 月	農業	作業者	女	20	3ヶ月	激突され	移動式クレーン	サトウキビ畑横の町道付近にて、事業主が前日に刈り取ったサトウキビの積込作業を行うためトラッククレーンのアウトリガーを張り出そうとしていたところ、当該クレーンが前進し始め、補助作業のため近くを通行していた被災者がトラッククレーンのアウトリガーと電柱との間に挟まれたもの。
3	令和7年 4 月	木材伐出業	作業者	男	54	20年	激突され	立木	皆伐作業において、被災者がチェーンソーでヒノキの伐採作業(1人作業)を行っていたところ、当該ヒノキとつるで絡まった別のヒノキが、伐倒したヒノキとともに倒れ、被災者に激突したもの。
4	令和7年 7 月	燃料小売業	運転者	男	57	2年	墜落・転落	トラック	エンジンオイルが入ったドラム缶をトラック(最大積載荷重1500kg、テールゲートリフター付き)に積み込む作業を行っていたところ、被災者から同僚に「荷台から落ちて手首を折った。」との連絡があり倉庫に向かったところ、被災者がトラックの助手席で意識朦朧の状態であぐまっており、救急搬送されたが、9日後に死亡したもの。
5	令和7年 7 月	産業廃棄物処理業	運転者	男	52	7か月	はさまれ・巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	被災者は出張作業においてスキッドステアローダーを運転し、養鶏場の鶏糞等の清掃作業に従事していたが、同僚が養鶏場内に入ったところ、スキッドステアローダー車体及びブームの枠に挟まれている被災者を発見したもの。
6	令和7年 8 月	土木工事業	作業者	男	45	20年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	砂防ダム新設工事において基礎石(直径60cm、重さ200kg)を法面上部に設置するため、ドラグショベル2台を用いてリレー形式で基礎石を移動させていたが、バケットから地面に降ろした基礎石のひとつが落下しそうになったため避けようと旋回したところ、付近で整地作業を行っていた被災者がドラグショベルのバケットと砂防ダム壁面の間にはさまれたもの。
7	令和7年 8 月	産業廃棄物処理業	作業者	男	76	5年	はさまれ・巻き込まれ	トラック	事業場敷地内において、被災者は単独で、ゴミ収集車(プレス式塵芥収集車)に段ボールを投入する作業を行っていたところ、近くにいた同僚労働者が、ゴミ収集車のプレスプレートに上半身を挟まれた状態の被災者を発見したもの。
8	令和7年 9 月	ハイヤー・タクシー業	運転者	男	76	12年	交通事故(道路)	乗用車	被災者は、乗客を乗せて国道を走行していたが、飛び出してきたタヌキを避けるためハンドルを右に切ったところ、対向車線を越えて右側の法面に激突して頭部を打ち、救急搬送されたが14日後に死亡したもの。
9	令和7年 10 月	土木工事業	運転者	男	74	55年	墜落・転落	掘削用機械	令和7年8月の豪雨災害による災害復旧工事現場内において、被災者がドラグ・ショベルを運転して陥没穴の埋戻し作業を行っていたところ、当該陥没穴内にドラグ・ショベルごと墜落し、被災したもの。